



# タケシ

後援会ニュース

発行 2022年6月  
発行 大貫タケシ後援会  
住所 鹿沼市坂田山1-83  
TEL・FAX 0289-63-0265  
Mail takeshi@one.bc9.jp

第 32 号



## 人口が減ったとしても、安心して日々の暮らしが送れる仕組みへ

厚生労働省は2021年の合計特殊出生率が1.30だったと発表しました。6年連続で前年を下回っています。また、出生数は81万1,604人で、明治32年に統計を取り始めて以降最も少ない数となっています。一方、死亡者数は戦後最も多い143万9,809人となり、死亡者数が出生数を62万8,205人上回っています。

国は、2014年に「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、全国の自治体は「人口ビジョン」と「総合戦略」を策定することとなりました。移住定住政策、子育て支援策など出生率アップを目指し政策が各自自治体で競わされることとなりました。全国の中には、移住者や出生数を増やした自治体もありますが、ごく一部に限られています。先に触れたように、出生率が改善せず国の総人口が減少する中では当然の結果です。

この人口を数値目標とした競争に勝者はいるのでしょうか。出生数や移住者が増加させるために、各種補助制度の充実が各自自治体で競われましたが、財源に限りがある中、これが果たして持続可能な政策と言えるのでしょうか。鹿沼市の人口ビジョンでは、出生率や社会増減の改善を見込んでも、人口が減って行かざるを得ません。人口推計はかなり確度の高い推計と云われていますので、当面は、人口が減っていくことをまちづくりの前提とすべきです。もちろん少子化対策や移住政策が無駄だといっているわけではありません。しかしそれは、人口という指標だけで表されるのではなく、子育ての安心感や新たな暮らしの充実など一人一人の幸福感や暮らしの満足度が指標となっていくべきなのではないでしょうか。人口が減っても、安心して暮らすことができる仕組みづくりこそ、これからの人口減少時代の課題であると考えます。

### ○鹿沼市人口ビジョン

	2030年	2035年	2040年
合計特殊出生率	1.53	1.60	1.81
社会増減数	±0	±0	±0
総人口(人)	87,969	84,651	81,249
社人研推計(※)	84,479	79,318	73,852

2045年	2050年	2055年	2060年
2.07	2.07	2.07	2.07
±0	±0	±0	±0
78,269	75,283	72,313	69,337
68,278	-	-	-

※社人研とは国立社会保障・人口問題研究所の略。人口研究・社会保障研究はもとより、人口・経済・社会保障の相互関連についての調査研究を行なう厚生労働省の施設等機関である。

鹿沼市の人口ビジョンは、合計特殊出生率が段階的に改善し、2045年には人口置換水準(ある死亡の水準の下で、人口が長期的に増えも減りもせず一定となる出生の水準)に達すること、社会増減数(転入者と転出者の差)をプラスマイナスゼロとして展望しています。社人研推計は「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」によります。

# 大貫タケシの議会報告

2月22日から3月22日まで、令和4年第1回定例会（3月議会）が開催されました。3月議会は予算議会と言われますように、令和4年度の一般会計予算、国民健康保険など各種特別会計予算について、それぞれ審議を行い決定しました。予算審議の採決に際

して、賛成の立場で討論をいたしました。（本文に賛成討論要旨を掲載。）また、鹿沼市自治会連合会から出された議員定数の削減を求める陳情書の審議、ロシアによるウクライナ侵攻への抗議決議なども行ないました。

## 意欲的な積極型予算と評価

### —大貫タケシ賛成討論要旨—

新年度予算案について、私は2つの視点から審議をさせていただきます。一つ目は、市民の暮らしや生業を支えるものとなっているのか。二つ目は、将来の町の発展を



見据えた的確な投資が行なわれているかです。一つ目の、市民の暮らしや生業を支えるものとなっているのかです。

快適な生活を営む上で廃棄物の処理は欠かせないわけでありますが、今回の予算の中で、「粗大ゴミ処理施設基幹改良工事」に約6億7千万、下水道処理施設の改修に約4億6千万円が盛り込まれ、市民生活を支える基礎的なインフラにキチンとお金が使われることと地味で当たり前のことですが評価したいと思います。

少子高齢化の進行中、それらの課題に適切に対処しなければなりません。そのための福祉関係の予算である民生費は令和4年度予算でも全体の35.9%、3分の1強が当てられており、課題に対する的確な予算処置が行なわれているものと思います。少子課対策・子育て支援策は議会の議論の中でも最重要のものとなっておりますが、今回の新生児1人あたり1万円を支給する「健やか赤ちゃん応援券」の事業は新たな取り組みとして大いに評価すべきものです。

地域の経済を支える企業の支援も欠かせませんが、「デジタルビジネス推進事業」や「地域経済牽引企業の伴走型支援」なども評価のできるもの

二つ目の、将来の町の発展を見据えた的確な投資が行なわれているかですが、これはなかなか難しい課題です。かつてのような経済が成長する時代ではなくなりました。何が市の発展を導くのか見通すことはなかなか容易ではありません。無謀な投資を行なって失敗すればそのつけは市民が負うことになりま

です。さらに、昨今、経済的な豊かさの追求だけでなく、QOL（クオリティオブライフ）やウェルビーイングなど生活の質の向上を求める声が大きくなっています。「ヤオハンいちごパーク陸上競技場の全天候化」や「フラワーズゾーンの整備など道の駅化を目指した花木センターのパワーアップ」 「地域文化の保存伝承支援」などの事業はこうした市民の欲求に応えていくものと考えます。

### 令和4年度一般会計予算の主な重点事業

- 子育て家庭への支援 15,491千円  
すこやか赤ちゃん応援券の支給（一人あたり1万円）等
- 鹿沼インター産業団地整備 266,998千円  
令和4年度中の分譲開始
- 水源地域の振興 378,886千円  
南摩ダムの建設に伴う地域の振興拠点施設の整備等
- 粗大ごみ処理施設基幹改良工事 674,848千円
- 花木センターのパワーアップ 10,000千円
- 地域経済活性化対策 1,447,110千円  
地域経済牽引企業の伴走型支援、中小企業制度融資等

大いに期待するものであります。限られた財源のなか、第8次総合計画のスタートの年の予算として、予算規模412億円、前年度比2.2%増の意欲的な予算と評価するものです。また、新型コロナウイルス感染症の対応や防災拠点としての市庁舎整備はもとより、予算化された事業を市民の皆さんの理解と協力を得ながら着実かつ効果的に実行頂くよう要請致します。

# 新たな市の指針、「第8次総合計画」を決定

今後10年間のまちづくりの指針となる第8次総合計画を決定しました。国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を取り入れたこと、3つの重点プロジェクトを設けたこと、市民がみんなで協力してできること（自助・共助）を明示したことが特徴となっています。

- 重点プロジェクト
- ①防災力強化プロジェクト
- ②上手に縮む多核連携型拠点形成プロジェクト
- ③Society5.0の実現に向けたデジタル化プロジェクト

## 議員定数の削減を求める陳情は継続審議

5件の陳情書が提出され次のように決定しました。

議員定数を現行の24名から20名に削減することを求める陳情書が、自治会連合会

から出されました。議会運営委員会で審議しましたが、さらなる議論が必要であることから継続審議としました。

暴走族撲滅に向けて、①警察と連携しての取締の強化、②啓蒙活動の推進を求める陳情書は総務常任委員会で議論し、採択しました。

「新型コロナウイルスのリスクとベネフィット両方の情報開示の徹底に関する陳情書」「日本の法令に基づき、新型コロナウイルス感染症予防に関することを市民及び職場、学校への周知徹底への陳情書」「新型コロナウイルス接種後の健康被害についての被害者相談窓口の設置に関する陳情書」は、趣旨は理解しつつも否決となりました。

## ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議

平和都市宣言を行なっている自治体の議会として、ロシアによる一連のウクライナへの軍事侵攻に断固抗議する決議を行ないました。また、後日市議会として日本赤十字を通じてウクライナ難民等への人道支援を目的とした寄付を行なうことを決定しました。

## 地方自治功勞にて表彰いただきました。

5月20日、市民文化センターにおいて、令和4年度鹿沼市功勞者表彰式が行なわれ、地方自治功勞にて表彰頂きました。これも一重にお支え頂いたみなさまのお陰であり、心より感謝を申し上げます。

これまで、学生や社会人時代もほとんど表彰などされた記憶はありませんでしたので、本当に感謝です。また、素晴らしい実績を重ねた諸先輩と一緒に表彰を頂き光榮に存じております。一方、諸先輩方の活動から見れば

私どもの活動はまだまだであり、あらためて地方自治の発展のために今後も努力する決意です。

地方の時代と言われて久しいわけですが、少子高齢化など大きな課題に直面しています。しかし、自分たちのまちは自分たちでつくり、守っていくとの思いで市民のみなさん一人一人が力を出し合っていけば必ず展望は開けるはずで。市民のみなさんの力を信じて、みなさんとともに進んでいける議会を目指していきます。



記事に対するご意見、市政に関する意見・要望などございましたら、遠慮なく下記までお寄せください。

TEL・FAX 0289-63-0265  
 携帯 090-7736-2017  
 メール takeshi@one.bc9.jp



### 大貫タケシ・プロフィール

生年月日 1960年9月26日生（61歳）

○学歴

西大芦西小学校、西中学校、鹿沼高校を経て  
 宇都宮大学農学部農業経済学科卒業

○職歴

1983年4月より28年間鹿沼市役所勤務（福祉課長）  
 2019年9月市議会議員当選（3期）



# あなたと変える！この国の政治。 お二人の活動を応援しています。



みやこ

## いたくら 京

## あなたの役に立つ政治。

- 1 税の集め方と使い道。この理不尽を正す！
- 2 わるい物価高を我慢しない！過度な円安には即対応！
- 3 女性が住みたい！と思える“とちぎ”をつくる。
- 4 全国一の下落幅の米価対策を徹底する！
- 5 とちぎの「宝」を世界に発信！

いたくら京プロフィール

- 1966年10月19日生れ
- 1999年3月 成城大学文芸学部卒業
- 1993年3月 名城大学大学院 法学研究科民法学専修修士課程修了

税理士、株式会社ウーマン・タックス代表取締役  
「相続はつらいよ」（光文社知恵の森文庫）など著書多数

立憲民主党栃木県参議院選挙区第1総支部長



おにき

## 鬼木まこと

## 「ともに支え合う社会」を！

- 1 公共サービスを拡充し、公助を軸とした社会の実現
- 2 全世代に対応する社会保障制度の構築
- 3 格差のない持続可能な社会の実現
- 4 男女がともに活躍できる社会の実現
- 5 平和な国際社会の実現
- 6 地域分散型エネルギー社会への転換

鬼木まことプロフィール

- 1963年／福岡県筑紫野市（ちくしのし）生れ
- 1982年／福岡県立筑紫野高校卒業後、福岡県庁入職
- 2014年／自治労本部組織対策局長、書記長を歴任

立憲民主党参議院比例第15総支部長